

H29年度 年末年始時期 高速道路本線の渋滞状況(10km以上)

◎10km以上…1回(下り線0回、上り線1回) ※参考 昨年度:0回(下り線0回、上り線0回)

番号	道路名	上下線	発生日	曜日	渋滞が発生した区間 ※()内は渋滞発生箇所	ピーク時渋滞長(ピーク時刻)		原因	関係する県
						発生時刻～解消時刻	ピーク時渋滞長(ピーク時刻)		
1	E4東北自動車道	上り線	1月3日	水	長者原スマートIC～若柳金成IC (長者原SA付近)	13.1 km (16:05)	14:14 ~ 18:09	事故及び 交通集中	宮城県

注) 「IC」はインターチェンジ、「SA」はサービスエリアの略です。

県別 本線渋滞概況(10km以上)

●本線渋滞発生回数(回)

	県名	平成29年度	平成28年度	前年比	備考
1	青森県	0	0	—	
2	岩手県	0	0	—	
3	宮城県	1	0	—	
4	秋田県	0	0	—	
5	山形県	0	0	—	
6	福島県	0	0	—	
	合計	1	0	—	

注) 両県に跨る渋滞は渋滞を先頭とする県で算出

●本線渋滞量(km·h)

	県名	平成29年度		平成28年度		前年比	備考
		渋滞量	比率	渋滞量	比率		
1	青森県	0	0%	0	—	—	
2	岩手県	0	0%	0	—	—	
3	宮城県	26	100%	0	—	—	
4	秋田県	0	0%	0	—	—	
5	山形県	0	0%	0	—	—	
6	福島県	0	0%	0	—	—	
	合計	26	100%	0	—	—	

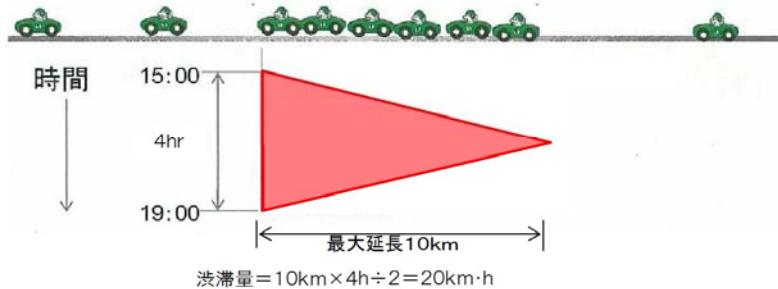
注1) 両県に跨る渋滞は渋滞を先頭とする県で算出

注2) 渋滞量km·h(キロメートルアワー)=[渋滞延長(km)×渋滞時間(h)÷2]

注3) 「渋滞」とは時速40km以下で車列の延長が1km以上、かつ15分以上継続した状態をいいます

●渋滞量の算出方法

算出例(参考)



渋滞量:発生した渋滞の最大延長×渋滞の発生した時間÷2

H29年度 年末年始時期 渋滞発生箇所 (上り線)

○凡例

路線番号	路線名
E4	東北自動車道
E4A	八戸自動車道、百石道路、青森自動車道
E6	常磐自動車道、仙台東部道路、三陸自動車道（仙台港北IC～利府JCT）、仙台北部道路
E7	日本海東北自動車道、秋田自動車道（河辺JCT～小坂JCT）
E13	東北中央自動車道
E45	三陸自動車道（利府JCT～八戸JCT）
E46	釜石自動車道、秋田自動車道（北上JCT～河辺JCT）
E48	仙台南部道路、山形自動車道
E49	磐越自動車道

